



【目指すこども園像】

すべての子ども、すべての保護者、すべての職員の**ハピネスにつながるこども園**

☆子どもたちが生き生きと自分らしく生活し、よく遊び、よく学び、心身ともに健やかに成長するこども園

☆保護者が子どもの成長や子育ての楽しさを実感し、ライフ・ワーク・バランスを実現できるこども園

☆職員が責任と誇りをもち保育・教育活動を展開する中で、自分のやりたいことが実現できるこども園

【理念と方針】～こども園の特色やよさを生かした保育・教育の展開～

★全職員が互いのよさや専門性を発揮した保育・教育を展開する

0歳児から就学前までの子どもたち一人ひとりの心身の発達過程やその連続性を考慮して、従来の保育園と幼稚園のよさを生かす保育・教育課程を一貫した方針に基づいて、新しい子どもの育ちの場を創造する。

★地域で地域の子どもを育てる

子どもやそれを取り巻く実態をとらえて、保護者や地域と連携して、乳幼児期の生きる力の基礎を培い、心身の健全な発達を図る。

子どもを共に見守り、育てる意識に立ち、地域と協力して、子育ての悩みや不安をもつ家庭を支援する社会的な使命を果たす。

【保育・教育目標】心身ともに健康でたくましく、主体的に遊びや生活をつくり出す力と豊かな感性をもち、自分を大切にし、人も大切にする子どもの育成を目指す。

○「元気な 子ども（体）」安定した気持ちで、意欲的に体を動かし、遊びや生活に取り組む子ども

○「やさしい 子ども（徳）」人に親しみ、共に遊びや生活を楽しむ 子ども

◎「考える 子ども（知）」物事に興味や関心をもち、考えて行動する 子ども

◎「考える子ども」を重点にして

・夢中になって遊び、遊びや生活を楽しむ子ども

・自分の思いを伸び伸びと表す子ども

・想像力と感性が豊かな子ども

・自他の違いを受入れ、人と協働する楽しさを感じる子ども

【千代田区 子育て・教育ビジョン】

子どもの健やかな育ちを**まち全体で支援し、一人ひとりの可能性を最大限に伸ばす**

・主体的に判断する

・多様な人々と共に生きる

・自ら未来を切り拓く

【重点】

・リテラシー教育の推進

・国際教育の推進

・インクルーシブ教育の推進

・いじめ、不登校対策

☆保護者・地域にとってのハピネスの充実のために

○保護者理解に努め、保護者一人一人の思いを受け止めたり、要望やニーズに迅速、的確に対応したりし、安心感や信頼感を構築する。

○保護者や地域が、園の保育・教育活動への理解を深め、参画意識をもち、子供の成長を感じられるようにする。

・園だより ・いずみっ子だより ・HP
・PTAとの連携 ・園公開 ・保育参観、参加
・親子ふれあい活動

○「地域で地域の子どもを育てる」ために、センター的役割を担い、子育て支援の充実や、地域の教育力向上を目指す。

・子育て支援事業 ・保育や園内研究の公開

○保護者が地域の中で子育てを楽しめるよう、保護者と地域をつなげる。

☆子供にとってのハピネスの充実のために

○子ども一人一人の良さを認め、伸長するために、一人一人の実態や特性を捉え、個に応じたきめ細かい関わりや指導を行う。

○子どもが安心感や安定感をもって、のびのびと心地よく園生活を過ごすために、受容的・応答的な関わりをするとともに、一人一人の生活時間帯を考慮した生活の流れや、活動の展開を工夫したり、安全・安心な生活環境を整えたりする。

○子どもが心身ともに健康で安全に生活するために、生活習慣の自立を育み、自分で行う喜びを感じられるような保育者の関わりや働きかけをする。また、「コーディネーショントレーニング」「食育」「安全教育」等の充実を図る。

○子どもが主体的に遊びや生活に取り組み、充実感や満足感、達成感を味わえるように、環境や教材の工夫、時間の保障をする。

○子どもが豊かな心や感性を育むために、「遠足」「特色ある教育活動」「すくわくプログラム」など、直接的・具体的な体験を重視する。

○「保育所保育指針」「幼稚園教育要領」「千代田区の子どもたちのための就学前プログラム」を理解し、質の高い保育を実践する。

・幼児期の終わりまでに育ってほしい10の姿

・千代田区が育成を目指す子どもの姿

・2歳児から3歳児の接続計画の活用や、保幼小連携の充実

☆職員にとってのハピネスの充実のために

○職員が働くことに喜びを感じ、経営参画意識を高められるように、職員理解に努め、職員一人一人の良さや力を認め、園運営に生かす。

○職員が自ら学ぶ意欲を高め、自己研鑽を深められるよう、園外研修に積極的に参加させる。

○園内研修を充実させ職員の資質向上を図る。

○職員が健康に生き生きと働くことができるよう、働き方改革を推進する。

・明るく開放的な職場環境作りの工夫。

・会議と打合せが連動し機能する工夫。

○職員同士が積極的にコミュニケーションを取り合いながら職務を遂行できるよう、チームを活用した園運営を行う。

・学年チーム ・園務分掌・行事チーム

・リーダー会

○OJT研修を活用し、若手保育者と中堅保育者が共に学ぶ機会を醸成する。

特色ある教育活動

A 学びを広げ、深め、支える取組 (基礎力・思考力・実践力)

- 自然体験活動
- 土作り・植物栽培
- 親子造形活動
- パネルシアターやペープサートの表現活動

B 豊かなスポーツライフの実現 (体育・健康)

- プール遊び
- 親子体験活動 (親子体操)
- コーディネーショントレーニング
(実践検証園)
- スポーツに親しむ「バトン体験」



心身ともに健康で、豊かな感性や情緒を養い、
自分を大切にし、人も地域も大切にする子ども

C 健やかな心の育成

- 生け花体験
- 親子体験活動 (親子体操)
- 親子体験活動 (自然物造形)
- もちつき

D グローバル人材の育成 (国際理解教育)

- 生け花体験
- 神田雷神太鼓 (伝統...拡充)
- 神田囃子・獅子舞
- もちつき